

期 日：平成26年10月7日（火）

場 所：1年3組教室

授業者：西牧 邦彦

1 単元名 武士の台頭と鎌倉幕府（全6時間）

2 生徒の実態

生徒たちは小学校6年時に本単元の内容を学習しており、平清盛・源義経・源頼朝・北条時宗などの人物や、保元の乱・平治の乱・源平の争乱・鎌倉幕府の成立などの事象について学んでいる。しかし、それらを単なる重要語句とだけとらえている生徒が多く、時代の流れや時代の特色が理解できている生徒は少ない。

本単元の学習では、小学校での既習事項も活用させて学習課題に対する「自分なりの考え」を書かせ、学習を通して「よりよい考え」に再構築させる活動を継続的に行っていききたい。

3 単元構想図

<p>単元の見出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平安時代の社会から生まれた武士がしだいに力をつけ、鎌倉幕府が成立するに至る経緯に関心をもち、意欲的に学習することができる。（関心・意欲・態度） ● 守護・地頭の設置や承久の乱などを経て幕府の支配が全国に広まったことを理解し、武家社会の特色を考えることができる。（思考・判断・表現） ● 鎌倉時代の武士の生活や民衆の動きを資料からとらえることができる。（技能） ● 鎌倉時代の文化と仏教に見られる新しい動きをとらえ、当時の社会とその関連付けることができる。（知識・理解）
<p>単元全体を貫く学習課題 「鎌倉時代はどのような特色をもった時代だったのだろうか」</p>

<p>第1時 武士の成長【過程 エ・カ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらい 武士の登場から武士団の形成、平氏政権の誕生までの経緯を時系列に留意してまとめることができる。 ○ 学習課題 「武士はどのようにしておこり、力をのばしていったのだろうか」 ○ 学習内容・活動の概要 武士の勢力拡大について戦乱と関連付けながら説明する。
--

<p>第2時 武家政権の確立【過程 イ・カ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらい 鎌倉幕府のしくみと御家人制度について、資料を活用して図示することができる。 ○ 学習課題 「鎌倉幕府の特徴についてまとめよう」 ○ 学習内容・活動の概要 幕府のしくみと御家人制度について、図に整理し説明する。
--

<p>第3時 武士と民衆の生活【過程 イ・カ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらい 絵画資料などを手がかりにして、武士の生活や民衆の動きを文章にまとめることができる。 ○ 学習課題 「鎌倉時代の人々はどのようなくらしをしていたのだろうか」 ○ 学習内容・活動の概要 絵巻物などの資料から、武士の生活や社会の様子を読み取り、説明する。

<p>第4時 鎌倉時代の文化と宗教【過程 イ・エ・カ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらい 鎌倉文化や新しい仏教の特色と新しい仏教が民衆の間に広まった理由を発表することができる。 ○ 学習課題 「鎌倉時代の文化や新しい仏教の特色とについて調べよう」 ○ 学習内容・活動の概要 新しい仏教の教えや文化の特色を、資料から読み取り説明する。また、新しい仏教が広まった理由について明らかにする。
--

<p>第5時 まとめ①【過程 ア・ウ・エ・オ・カ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらい これまでの学習を振り返って、鎌倉時代の特色を政治・外交・社会・文化の視点から文章で表現することができる。 ○ 学習課題 「鎌倉時代はどのような特色をもった時代だったのだろうか」 ○ 学習内容・活動の概要 交流活動を通して、よりよい時代観へと高めていく。

<p>第6時 まとめ②【過程 ア・ウ・エ・オ・カ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらい 交流活動を通して、歴史的事象に対する理解の広がりや深まりを実感して、歴史を大観する目を養うことができる。 ○ 学習課題 「古代から中世へ～時代の節目を探ろう！～」 ○ 学習内容・活動の概要 既習事項をもとにして歴史の節目を選択し、根拠を自分の言葉で表現する。
--

4 準備物 教科書 資料集 ワークシート